

## 処遇改善について「見える化」要件について

社会福祉法人平成福祉会

令和6年度の介護報酬改定により、従来の「介護職員処遇改善加算」「介護職員等特定処遇改善加算」「介護職員等ベースアップ等支援加算」が統合され、新たに「介護職員等処遇改善加算」が創設されました。

当法人では、職員の賃金体制の整備や、計画的な研修機会の提供など、職場環境の整備に取り組んでおり、事業所において本加算の算定要件の一つである「見える化要件」に基づき、賃金以外における処遇改善の具体的な取り組み内容を、以下のとおり公表いたします。

事業所名	介護職員等処遇改善加算
てまり特別養護老人ホーム	I
てまりショートステイ (介護予防含む)	I
てまりデイサービスセンター (総合事業含む)	I
てまりデイホーム (介護予防含む)	I
てまり訪問介護ステーション (総合事業含む)	I
てまりグループホーム	I
モス・コーラ特別養護老人ホーム モス・コーラ空床ショート	I
モス・コーラデイホーム (介護予防、総合事業含む)	II

### 【処遇改善に関する具体的な取り組み】

	職場環境要件項目	当法人としての取組
入職促進に向けた取組	法人の事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	ホームページや職員採用案内の「教育・研修」欄に記載し、職員集会を通じて基本理念や事業方針を周知している。
	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	法人内拠点間での人材交流の展開。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	多様な人材がそれぞれの希望や特性に応じて働ける環境づくりを推進し、障害者雇用を含む幅広い採用活動を展開している。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取り組みの実施	市内中学生の職業見学や高校生のインターンシップ、介護福祉士養成施設による介護実習、県主催の障害者職場実習など、地域や教育機関との連携による多様な実習・見学の受け入れを積極的に行っている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅に対するマネジメント研修の受講支援等	「職員研修・資格取得制度規程」に基づき、研修受講時は業務として扱い、受講費用の補助をしている。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	人事考課制度に基づき、等級別に研修や資格取得の目安を設定し、職員のスキルアップとキャリアパスを明確にしている。
	エルダー・メンター制度等導入	プリセプター制度の導入。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	年2回の人事考課に基づくフィードバック面談を実施するとともに、月1回のサポートシートを活用した相談機会を設け、継続的な職員支援体制を整えている。

両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児所施設の整備	「育児・介護休業等に関する規則」に基づき実施している。また年次有給休暇は必要によっては1時間単位での取得が可能。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非常勤職員から正規職員への転換の制度等の整備	職員の多様なライフスタイルに配慮し、柔軟な勤務シフトの設定や短時間正規職員制度を導入。治療と就労の両立を支援する体制を整備している。
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	月1回のサポートシートを活用した相談機会を設け、継続的な職員支援体制を整えている。ハラスメント相談窓口の設置や意見や悩みを投稿できる「意見箱」を設置している。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の取得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	スマートフォンやPCから随時視聴できる介護技術動画コンテンツを提供している。
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	全職員を対象とした定期健康診断およびストレスチェックを実施し、心身の健康維持に努めている。また、職員の意見を反映しながら、快適な休憩環境の整備を進めている。
	雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施	毎月の管理者会議で情報の共有。
	事故・トラブルの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故防止対応マニュアルの整備。
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等ICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	ICTを活用した業務改善の一環として、各事業所にパソコンを設置し介護情報管理システムを導入。さらに、タブレット端末による記録入力により、作業時間の短縮と業務効率の向上を図っている。事業所によってはインカムを使用。
	5S活動等の実践による職場環境の整理	使いやすさと移動のしやすさを考慮し、利用者にとって居心地の良い空間づくりを実施した。

	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	タブレット端末の活用により、記録の転記作業が不要となり、情報共有も端末上で円滑に行える体制を整えている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	未来志向の提案を職員から募り、現場の声が反映される環境づくりに取り組んだ。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	ボランティアの受入れや、地域の保育園と連携し、園児の受け入れや利用者の訪問を通じて、世代間交流の機会を積極的に創出している。
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	各委員会で年間計画を立て実施。職員集会を通じて基本理念や事業方針を周知している。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の確保	毎月の管理者会議にて情報共有を行っている。